

No.172 2025.07.25 (令和7年) 	 あつぎ — 支部だより — あいかわ あつぎ あやせ えびな きよかわ さま やまと	もくじ 1～2・・・全国安全週間 県央地区指針退会 支部からのお知らせ 3・・・監督署からのお知らせ 4～5・・・専門部会紹介 6・・・道逓 7・・・健康CHANNEL 8・・・私の推し
発行：(公社)神奈川労働安全衛生協会厚木支部 編集：広報部会	E-mail:toi_12@roaneikyo.or.jp http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/atsugi/index.html	〒243-0018 厚木市中町3丁目1-7 TEL (046) 259-8118

『多様な仲間と 築く安全 未来の職場』 令和7年度全国安全週間県央地区推進大会

トピー工業株式会社
中西 正人

関東地区も梅雨の時期に入った6月11日(水)に令和7年度全国安全週間県央地区推進大会が開催され、あいにくの小雨の中、178名の多くの方々に参加して戴きました。開催に先立ち、労働災害にあわれて尊い命を落とされた方々へ対して黙とうが捧げられました。



建設業労働災害防止協会神奈川支部厚木分会、山本分会長の開会の辞より大会が始まりました。



この安全週間に
向けて安全意
識の高揚を各会
社様はおこなっ
ておられると思
いますが、ニュー

ースやネットなどでは、全国のどこかで重大災害による尊い命が失われていると報道されております。

毎日の朝礼で、職員・従業員へ命の大切さを伝えることが大事だと思っています。命の大切さを届く言葉で・届く声で・届く想いで伝

えて戴くことが、災害ゼロを達成する大きな秘訣なような気がします、と挨拶がありました。

次に主催者を代表として、(公社)神奈川労働安全衛生協会厚木支部、永澤支部長より大会の趣旨など開催に向けた挨拶がありました。



ご来賓としてご臨席頂いた厚木労働基準監督署、今井副署長より令和6年に発生した休業4日以上死傷災害は、1,060件となり令和5年の1,103件に比較して、43件の減少となった。

しかし第14次の目標にもある1,000人未満には至っていない



状況にあります。死亡災害については昨年、残念ながら1件増加の6件、本年に入ってから、4月までは0件でしたが5月に1件死亡災害が発生しております。死亡者は、本年4月以降、神奈川労働局管内では、非常に急増しております、5月末で17件と前年比で大幅に増えている状況です。

6月から事業者に対し、熱中症対策が法令上義務化となっております。昨年は、職場での熱

中症を発症した方は、統計上全国で1, 257人で、統計を取り始めた平成7年以降で最多を記録している。

熱中症による死亡者数も管内で発生した1件を含めまして、31人と3年連続で30人以上という状況にあります。熱中症は早期発見、早期対処することで重症化を防ぐことができると言われていますので、熱中症が発生した場合の対応は、改めて各職場で早期対応の検討をして戴きたいと申し入れがありました。

続いて、厚木市山口市長からご祝辞を頂き、寄せられたメッセージを紹介した後、陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部厚木分会、大塚副会長より大会宣言が読み上げられ、参加者全員の力強い盛大な拍手で採択されました。



続いて、厚木労働基準監督署の原安全衛生課長より第14次労働災害防止推進計画の推進状況、厚木労働基準



監督署管内の災害発生状況の説明や転倒災害防止の取り組みへの重要性と改善要請、全国安全週間実施要綱の説明が行われました。

第2部の特別講演は、ミドリ安全株式会社、安全衛生部の石井様による講演で転倒災害防止対策など1時間のお話がありました。転倒防止対策は、ちょっとした工夫を積み重ね実施継続が重要とのことでした。講演の中で現場改善を写真で分かりやすく紹介されていて、とても参考になったのではないかと思います。また、階段の昇降時の手すりを握ることの重要性や転倒災害は年齢層が高く、災害が発生した場合には大きなケガに繋がり易い、また、ケガをされた中高年齢においては女性の割合が多いとの情報でした。転倒災害についての対策事例も数件、説明の講話がありました。今回の推進大会は、多いに参考になる講演があったのではないのでしょうか。参加されて居ない方々は是非、次回に参加してみてください。



支部からのお知らせ

9月4日（木）全国労働衛生週間県央地区推進大会
（会場 海老名市文化会館 小ホール）

- | | |
|-------|--|
| 特別講演Ⅰ | <p>演題：「中高年の睡眠と仕事の効率について」</p> <p>講師：東海大学医学部基盤診療学系 衛生学公衆衛生学
助教 中澤 祥子 氏</p> |
| 特別講演Ⅱ | <p>演題：「若年性認知症について」</p> <p>講師：湘南東部総合病院 認知症疾患医療センター
若年性認知症支援コーディネーター 小菅 孝治 氏</p> |

※夏季休暇のお知らせ

8月12日（火）～8月17日（日） 8月18日（月）より通常業務

厚木労働基準監督署からのお知らせ

「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の折り返し地点です。
～ 引き続きの熱中症予防をお願いします ～

5月から始まった「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」も折り返し地点に入りました。気象庁は、今夏の気温予測を「例年に比べて高い」としており、熱中症り患の危険も例年以上と考えられます。

職場における熱中症による死傷者数のボリュームゾーンは7月、8月ではありますが、気温が下がり始める9月、10月にも仕事に熱中症に罹患した報告があがっており、油断のならない状況が続きます。

職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数（以下合わせて「死傷者数」という。）は、令和6年に1,257人と、死傷者数について統計を取り始めた平成17年以降、最多となっています。

熱中症は、①見つける、②判断する、③対処するを遺漏なく行うことが重要です。熱中症の自覚症状がある者や熱中症のおそれがある者を見つけた者がその旨を報告するための体制整備及び関係者への周知、熱中症のおそれがある者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、a.事業場における緊急連絡網、緊急搬送先及び所在地等、b.作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成及び関係者への周知が求められます。（職場の見やすい箇所に掲示することが望ましい。）



令和7年5月30日付け厚労省発表資料から抜粋



専門部会のご紹介

【労務管理部会】

労務管理部会では、「働き方・休み方改革の推進」「労働関係法令の周知、遵守及び職場環境の整備」を基本方針と掲げております。主な活動は、働く方々の多種多様な働き方・休み方を選択できる社会、多様な人材が安心して働ける魅力ある職場環境の実現に向けた取り組みや多様化するハラスメントの理解とハラスメント防止策、解決策の知見を広める事を中心に、関係法令や労務管理における課題について厚木労働基準監督署からの情報提供、各支部の効果的な活動内容を共有し、部会メンバーにて講習会、研修会を企画、開催することです。



労務管理の最前線で実務に関わっている各会員企業の皆様が、日頃「働き方改革」「関係法令の周知、遵守及び職場環境整備」を進める中で障害となっている諸課題に対処すべく時事に則した講習会、研修会を推進し皆様に役立つ情報の提供が出来るよう努めて参ります。

【安全部会】

ご安全に

安全部会は今年度より新体制となりました。頼りない部会長 1 名と経験豊富な一騎当千に値する 7 名の部会員、計 8 名で部会活動をしております。



当部会は会員事業場の労働災害防止を最重要課題と認識し、中間年にあたる「第 14 次労働災害防止推進計画」の目標達成に向け日々邁進し部会活動を進めています。具体的な活動として、厚木労働基準監督署と連携を密に取り、安全大会をはじめ部会の開催や教育イベント等を通じ会員相互の有益な情報交換、相互啓発、教育等を実行していきます。滞りなく開催を終えた令和 7 年度 全国安全週間県央地区推進大会においては、部会メンバーによる宣言文の作成、当日は資料配布の準備、舞台設営、受付等をつとめました。

部会活動も活発にできる日常となり、より一層の安全水準向上を目指し、特徴ある部会活動の充実によって厚木労働基準監督署管内における労働災害発生件数の低減を目標に、活発な活動を展開してまいります。

今後とも会員企業の皆様のご支援とご協力のほど、宜しくお願い致します。

【労働衛生部会】

労働衛生部会では、事業場における適正な労働条件の確保、衛生管理、健康保持増進を促進するための活動をしております。

主な行事は、①全国労働衛生週間推進大会の企画・運営、②労働衛生研修会の企画・運営の 2 点です。どちらの企画・運営も、産業保健委員会と合同で取り組んでいます。過去には、ストレスチェック制度導入時の問題点やその対策方法など実務レベルの情報の共有を図るため、事業場の実務担当者、厚木労働基準監督署安全衛課長を交えての意見交換や行政からの改正法令説明や指導を行い、衛生コンサルタント講話など啓発活



動を実施しました。2025年6月から職場における熱中症対策の強化について、改正労働安全規則が施行されました。熱中症死亡災害を防止するには、初期症状における早期の対応と適切な処置が必要です。協会支部では熱中症予防管理者研修を開催しています。

また、第14次労働災害防止推進計画の中間点である3年目を迎え、(2023年度から2027年度の5ヶ年計画)では、労働者の健康確保対策の推進(過重労働、メンタルヘルス、産業保健活動)や化学物質による健康障害防止対策の推進(化学物質、粉じん、熱中症、騒音、電離放射線)など8つの重点事項が定められました。労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全で健康に働くことができる職場環境の実現に向け、国、事業者、労働者等の関係者が目指す目標や重点的に取り組むべき事項を定めたものとなっています。

会員事業場の労働衛生課題を共有し、労働衛生研修会に向けて必要なテーマを協議検討し、会員事業場に有益で関心の高い知識や情報を提供できる活動を推進してまいります。

【広報部会】

広報部会では、年4回発行される「あつぎ支部だより」の企画・編集・校正を通じて、会員事業場の皆様に有益な情報をわかりやすくお届けすることを目的に活動しております。健康をテーマとした「健康 CHANNEL」、趣味や文化に触れる「逍遙」、好きなものや応援しているものを自由に書く「私の推し」など、多彩な内容を盛り込み、管内全域をカバーする紙面作りに取り組んでいます。また、発行前の原稿の校正や、講習会・研修会の開催情報提供など、地道ながら大切な業務も担っております。今後も会員の皆様の声に耳を傾けながら、より親しみやすく役立つ広報を目指してまいります。



【倉庫関係部会】

倉庫関係部会は、独立した団体として活動を進めていましたが、平成17年(2005年)4月に神奈川労務安全衛生協会の一員として再スタートし20年の節目を迎えています。ここ数年コロナ禍により目立った活動はできていませんが、厚木労働基準監督署管内における倉庫関係の災害発生状況は思わしくない状況にあり、ひとたび災害が発生すると比較的重篤化することも予想されます。近年、大型倉庫の設立が進む中、倉庫関係の災害撲滅に向けた活動を労働基準監督署の指導を頂きながら、各事業場の自主パトロールの充実や事業場の良い所を共有するなどの具体的な活動を推進し、倉庫関係部会の活性化を進めていきたいと考えています。



【食品加工部会】

厚木労働基準監督署管内の食品加工製造業における労働災害の発生は、製造業全体の約25%を占めており、ここ数年この高い状態が続いている状況です。私たち食品加工部会は、関係する食品に関係する事業場のメンバーで組織し災害防止に向けた諸活動を進めてきていましたが、コロナ禍より活動が停滞し思うような活動が進められていませんでした。今年は、まず停滞していた活動をコロナ禍前の状態に戻すべく当時の委員事業場のメンバーで再起に向けた話し合いを進めることとし、労働基準監督署からも指導をいただいて、具体的に動き始めております。食品加工関係の事業場から災害が減少するように取り組むべき課題を明確にして、効果的な活動を推進していきます。





『寄り道ドライブ』



アツギ株式会社
鈴木 邦宏

神奈川県綾瀬市で子供時代を過ごした私ですが、結婚してからは相模川を渡り厚木市内で暮らしております。相模川の東と西では景色も少し違っており、より丹沢山が近くに感じます。

この春より、松田へ行く機会が増えました。こちらは更に山々が近くなり緑も濃く感じます。川のせせらぎも感じられ、所用を済ませたあとも散策したくなる風景です。その中でも松田に行った際にはとても気になる足柄道についてお話ししたいと思います。

古代ではこの足柄道が今の東海道の役割を果たしていたことをご存じの方も多いと思います。万葉集にも登場する古道の一つです。ハイキングコースとしても人気であり、大雄山から足柄神社、矢倉沢関所跡を通り、足柄峠に入ります。途中、金太郎が産湯を使った滝などもあり、なかなか楽しいコースとなっております。古代から官道とされており、昔の人たちはこの道を通り都まで移動していたのかと思うと歴史のロマンを感じます。全長18キロメートルほどの道ですが楽しく一日を過ごせることと思います。そして、足柄峠といえばワインディングが秀逸なドライブ道路です。この道は、特に富士山や周囲の山々の絶景を楽しむことができるため、多くのドライバーに愛されています。足柄道を走ること、四季折々の風景を堪能しながら、心地よいドライブを楽しむことができます。また、足柄道の魅力は、その美しい景観だけではなく、道中には、さまざまな観光スポットや休憩所が点在しており、ドライブをより一層楽しむことができます。例えば、道の駅「足柄・金太郎のふるさと」では、地元の新鮮な農産物や特産品を購入できるほか、地元の料理を楽しむこともできます。ここでは、特に「お茶の葉と塩昆布のふりかけ」や「足柄茶」など、ユニークなお土産が人気です。

また、足柄道を進むと、洒水の滝や大雄山最乗寺などの自然や文化に触れるスポットもあります。洒水の滝は、マイナスイオンを感じられるパワースポットとして知られており、訪れる人々に癒しを提供しています。大雄山最乗寺は、歴史的な寺院であり、静かな環境の中で心を落ち着けることができます。

ドライブ中には、富士山や周囲の山々の美しい景色が広がります。特に晴れた日には、富士山の雄大な姿を間近で見ることができ、その美しさに感動することでしょう。足柄峠からの眺望



は特に素晴らしく、ドライブの途中で立ち寄る価値があります。ここでは、写真を撮るために多くの観光客が訪れ、思い出に残る瞬間を楽しんでいます。

さらに、ドライブの途中には、足湯や日帰り温泉などのリラクゼーションスポットもあります。EXPASA 足柄では、足湯カフェでリラックスしながら、周囲の自然を楽しむことができます。これにより、長時間のドライブでも疲れを癒し、心身ともにリフレッシュすることができます。足柄道は、自然の美しさと文化的な魅力が融合した素晴らしいドライブコースです。地元のグルメや観光スポットを楽しみながら、心地よいドライブを体験できるこの道は、特に週末のレジャーに最適です。四季折々の風景を楽しみながら、家族や友人と一緒に素敵な思い出を作ることができるでしょう。次回のドライブには、ぜひ足柄道を選んでみてはいかがでしょうか。



『デスクワークは姿勢が大事』



アンリツ株式会社
大内由美

長時間のデスクワーク中、知らず知らずのうちに姿勢が悪くなっていませんか？
悪い姿勢に気がついて姿勢を正してみるもののしばらくするとまた悪い姿勢に戻ってしまい、よい姿勢をキープすることは意外と難しいです。

【やりがちな NG 姿勢】

- ・モニター画面に顔を近づけて首を突き出した姿勢（ストレートネック）
- ・背中を丸めた姿勢（猫背）
- ・肩甲骨が前に出て肩が内側に丸くなった姿勢（巻き肩）
- ・浅く座った状態で腰が反っているまたは丸まっている姿勢
- ・足を組む など ついついやってしまっていますね。



このような悪い姿勢を続けていると首・肩・腰がつかなくなる。

首を突き出し、背中を丸め前傾姿勢になることで、重い頭を支える首や肩の筋肉への負担が大きくなり、首こり・肩こりが日常化してしまう。骨盤が歪み、筋肉のバランスが崩れることで、腰や背中への負担が蓄積して慢性的な腰痛に悩まされるケースも多くみられます。

さらに筋肉が凝り固まることで血流が悪くなり、全身の不調にもつながってしまいます。

ついついやりがちな NG 姿勢を見直し、健康的なデスクワークを実現したい。

正しい姿勢をつくるための5つのステップは以下となります。

1. 椅子に深く腰掛ける

→座り方が浅いと背中が曲がりやすくなり腰に負担がかかってしまうので×

2. 骨盤を立てて背筋をのばす

→骨盤を立てるように座ると背骨が自然な S 字カーブを保て○

そして胸を張り、背筋をのばすと◎

3. 肘・肩・腰の角度を 90 度にキープ

→からだへの負担を最小限にする理想的なポジションです。

4. 足裏全体をしっかりと床につける

→足が浮いていると骨盤が不安定になります。高さを調整するためクッションなどの活用も◎

5. あごを軽く引いて、頭の位置を真上に

→頭のでっぺんが真上に引っ張られているイメージで姿勢を整えると◎

『骨盤を立てること！』を意識しながらおこなうと姿勢が整いやすいように思います。

ぜひ実践してみてください。

また、デスクワーク中も 1 時間に一度は立ち上がり、軽いストレッチをすることをお勧めします。
深呼吸しながら、ゆっくり手を上に伸ばすだけでも、姿勢のリセットに効果的です。血流も良くなり、脳のリフレッシュにもつながります。

長時間のデスクワーク中も、上手に休憩を取り入れながら、ついついやりがちな NG 姿勢を見直して正しい姿勢を実践したいですね。

まだまだ暑い日がつづきそうですが、暑さに負けずしゃきっと正しい姿勢で過ごしましょう。

私の推し

『私から見た日本の歴史とものづくりの文化』

株式会社 I J T T

人事労務部 海老名安全健康グループ

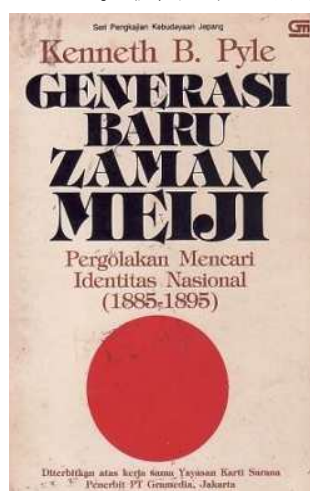
木村 ユスリ



今回は「私の推し」というテーマで神奈川県労働安全衛生協会厚木支部より、私の記事を掲載して頂くことになり嬉しく思

っております。ですが、私の推しや趣味などみなさんに紹介出来るようなことはありませんが、ここで、学生時代を振り返って考えたときに私自身25年前に来日したきっかけを思い出しました。

高校時代は日本の歴史が好きで、インドネシア語で翻訳された戦国時代や明治時代に起きた出来事が書かれている本をよく読みました。戦国時代や明治



時代、また戦後改革を見ても偉大な日本人達が受け継いだ武士道の精神を大事にしながら時代の変化に準じて、ものづくりの文化を次の世代に残していました。武士道の精神は後々日本のものづくりの土台となり、日本の高度経済成長と先進国へ突入できた大きな一つの理由だといっても過言ではありません。

武士道の精神はいろいろありますが、ここで私達が関わるものづくりの基本になるであろう3つのことを書きたいと思います。

1つ目は『向上心を持つ事と自己を律する事を求める』これは、ものづくりに求められる改善活動への基本的な考え方である。

2つ目は『質素倹約の精神』と言った言葉もありま

す。これはまさにものづくりの活動の中で無駄を排除し、効率的な生産を行うことを表す。

3つ目は『心身共に鍛錬し、人間として資質を高める』これはまさに、‘’ものづくりは人づくり‘’といった考え方に当てはまります。

しかしながら、現在日本の若者の大半は先人達から受け継がれてきた古き良き武士道精神にあまり興味がないと感じました。確かに現代は、多様性を尊重する社会であり、武士道のような考え方や価値観を押し付けることは出来ません。大事なものは武士道の精神を今の時代にアレンジして、周りの方々との誠実な関係の築き方や他者の気持ちを尊重する考え方へと時代に合わせる事が大切であると思います。

2年前から息子が剣道を始めたきっかけで、高校時代に読んでいた日本の歴史のストーリーと現代の日本社会の変化が気になります。それは、武士道の精神を介して日本のものづくりを支える重要な要素であり、改善への意識、品質へのこだわり、技術の継承、仲間との団結力などがなくなりつつあるように感じています。日系企業としてはこれらの変化を真剣に考え、取り組むべき課題であり、従業員への育成に反映する必要がある、現代社会においても、武士道の精神を再度理解し、実践することで、より良いものづくりを実現できると私は思っています。

私はインドネシア出身で25年前に来日しました。今は人生半分以上日本で過ごしていて、これからも日本社会で頑張っていく次第です。日本ものづくりに携わる一社員としても、日本の若い世代が心強い精神力を持ち日本のものづくりの文化を継承してほしいと願っています。

